

ごあいさつ

皆様方には、平素から大同信用組合をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成28年度の我が国の経済は、雇用や所得環境の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調にあると言われていますが、景況感にはばらつきが見られ、必ずしも景気回復を実感するには至っていないようです。

このような状況の中、平成28年度の預積金は、各種のキャンペーン定期等を中心に預金の増強に努めた結果、前期末残高を大幅に上回る実績となりました。

一方貸出金は、マイナス金利の導入などにより他行間競争が激化したものの、融資戦略チーム等による本支店間の連携を強化するなど、積極的な貸出推進に努めた結果、預積金同様大幅な増加となりました。

収支については、厳しい他行攻勢や余資運用利回りの低下等による減収要因もありましたが、積極的な貸出推進による利息収入の増加等が寄与して、当期純利益は前期並みの高水準を維持し、自己資本も順調に積みあがり、財務の健全性を一層強化することができました。

今年度の経済の見通しについては、英国のEU離脱に伴う欧州情勢の不安定化や米国の保護貿易主義的な政策の行方などが国内景気に及ぼす影響が懸念されており、とくに、中小零細事業者等においては、人手不足による人件費の上昇や原材料費の高騰などもあって引き続き厳しい経営を強いられるものと思料されます。

このような中、当組合は、地域密着型金融機関の使命として地域との共生を基本方針に掲げ、主要取引先である中小零細事業者等に対し、取引先ごとの木目の細かい対応を徹底するなど、コンサルティング機能の更なる発揮により円滑な資金供給に努めてまいります。また、中小企業金融円滑化法の期限は到来しましたがこれまでと同様に顧客支援を継続していく方針であり、地方創生への取組みと併せて地域経済の担い手としての役割を果たしてまいります。

今後とも健全な事業運営と財務基盤の確立に努めていく所存でございますので、引き続きご支援とお力添えを賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



理事長 石川泰旦

Top Message